

令和8年度 第1回長岡市地域公共交通協議会

参考資料

その他

長岡市地域公共交通計画策定準備について … 1 ～ 4

「くるりん」キャッシュレス決済実証実験の実績 … 5

協議事項第1号 参考資料

地域内生活交通の運行に係る補助金の推移 … 6

1. 地域公共交通計画策定の目的

長岡市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする「長岡市地域公共交通計画」を策定し、各種公共交通施策を推進している。

一方で、人口減少・少子高齢化の進行に加え、公共交通を支える運転手不足の深刻化や、燃料費等の高騰などにより、公共交通を取り巻く環境は大きく変化している。

また、国においては、地域公共交通計画と補助制度の一体的な運用、PDCAサイクルの強化、さらには移動ビッグデータ等を活用した計画策定が強く求められているところである。

これらの状況を踏まえ、「長岡市地域公共交通計画策定準備業務」は、令和10年4月に改定を予定している「長岡市地域公共交通計画」の策定に向け、必要となる調査・分析を行うとともに、課題の整理および今後の施策の方向性について検討を行うものである。

2. 国庫補助金の充当

地域公共交通計画の策定には、国庫補助金を活用する。

事業名 : 地域公共交通調査事業

補助対象者 : 長岡市地域公共交通協議会

3. 受託事業者の選定

計画策定に係る調査及び検討業務実施のため、受託事業者を決定した。

- ・ 事業の名称 : 令和8年度 交協委第2号
長岡市地域公共交通計画策定準備業務委託
- ・ 発注者 : 長岡市地域公共交通協議会
- ・ 選定方法 : 簡易評価型プロポーザル方式（公募型）
- ・ 委託期間 : 令和8年6月11日から令和9年3月19日
- ・ 受託事業者 : エヌシーイー株式会社

〈選定の経過〉

- 令和8年4月24日 プロポーザル公告
- 5月 1日 参加者表明書提出期限（3者）
- 5月28日 提案書提出期限（3者）
- 6月 2日 プレゼンテーション実施（3者）
- 6月 5日 審査結果発表

4. 地域公共交通計画策定のスケジュール案

計画の策定では、検討・整理した結果を協議会に諮りながら業務を進める。

(1) 全体スケジュール【以下に今年度業務を記載】

- 1) 業務計画の策定 2) 上位計画・関連計画との位置づけ整理
- 3) 長岡市の現況整理 4) 交通施策の課題整理
- 5) 交通流動・移動ニーズの調査及び分析
- 6) 公共交通施策の抽出及び実施可能性評価

業務項目	R8年度												R9年度												備考
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
業務(1) 業務計画の作成	↔																								
業務(2) 上位計画・関連計画との 位置づけ整理	↔																								
業務(3) 長岡市の現況整理	↔																								
業務(4) 交通施策の課題整理				↔																					
業務(5) 交通流動・移動ニーズの 調査及び分析																									
①アンケート調査・分析	↔																								
②ヒアリング調査	↔																								
③移動ビックデータによる 調査・分析			↔																						
業務(6) 公共交通施策案の抽出及び 実施可能性評価	↔																								
業務(7) 現計画の評価											↔														
業務(8) 基本方針の設定											↔														
業務(9) 計画目標の設定											↔														
業務(10)交通施策・事業の検討											↔														
業務(11)利便増進事業の 実施可能性検討											↔														
業務(12)計画書の作成															↔						↔				
業務(13)協議会等の運営支援				■						■			■			■		■		■					

協議会やパブリックコメントの意見を踏まえて適宜修正

パブリックコメント

(2) 協議会のスケジュール

年度	開催時期	内容
令和8年度	【第1回】 R8. 6. 24	・ 計画策定の進め方の確認
	【第2回】 R8. 9 月 予定	・ 地域概況の整理状況報告・アンケート調査結果報告 ・ 公共交通施策の基本イメージ報告
	【第3回】 R9. 2 月 予定	・ 課題整理結果並びに公共交通施策案の検討結果報告 ・ R9 年度計画策定の進め方の確認
令和9年度	【第1回】 R9. 6 月 予定	・ 基本方針並びに基本目標の設定結果の報告 ・ 交通施策並びに事業の詳細検討結果の時点報告
	【第2回】 R9. 9 月 予定	・ 現計画における事業評価結果の報告 ・ 利便増進事業の実施可能性検討結果の報告
	【第3回】 R9. 12 月 予定	・ 計画書（原案）の説明
	【第4回】 R10. 2 月 予定	・ パブリックコメントおよび第3回協議会での意見を踏まえた計画書修正案の確認

5. 交通流動・移動ニーズの調査及び分析実施概要

長岡市地域公共交通計画の策定にあたっては、交通流動・移動ニーズの把握を目的として、以下に示す3種類の調査・分析を実施する予定である。

【実施予定の調査一覧】

①アンケートによる調査 ②ヒアリングによる調査 ③ビックデータを用いた調査

(1) アンケートによる調査

目的

- 市民および公共交通利用者等の外出実態や利用状況、並びに公共交通に対するニーズや許容されるサービス水準等を把握することを目的として実施する。これにより、限られた運行リソースを踏まえた施策検討に資する基礎情報の収集を図る。

実施概要

- 現時点での公共交通利用者あるいは公共交通利用に結びつきそうな層として、「公共交通利用・高齢者・高校生」を優先的に調査のターゲットとする。
- 設問項目は、現計画との比較分析や評価指標の算出に用いる観点から、現計画策定時に実施した調査内容を基本的に踏襲する。一方で、次期計画に係る施策・事業の検討結果も踏まえた項目の見直し・再設定を行うほか、人材不足や運行経費負担等のリソース制約を丁寧に提示し、これを踏まえた利用者意向（許容されるサービス水準等）を把握する設問構成とする。

表 アンケート調査の実施概要

調査対象	【住民】 高齢者	【利用者】 公共交通利用者		【高校生】 高校2年生
配付方法	郵送配布	公共交通利用者が多いと想定される以下施設にて調査員が直接配布 ・長岡駅大手口、東口 ・日赤病院 ・中央病院 ・立川病院	下記地域の地域生活交通利用者に対して、乗降時に運転手より直接配布 ・小国地域 ・川口地域 ・山古志地域 ・寺泊、和島地域 ・栃尾地域	市内教育機関（高専・高校を想定）を通じた配布
回収方法	郵送・Web フォーム併用	郵送・Web フォーム併用	郵送・Web フォーム併用	郵送・Web フォーム併用
調査期間	R8.7 下旬頃	R8.7 中旬～下旬頃	R8.7 中旬～下旬頃	R8.7 月上旬頃
配布回収数 ※前調査参考	配布：4,000 票 回収：約 2,000 票 (想定回収率：50.0%)	配布：550 票 回収：約 165 票 (想定回収率：30.0%)	配布：250 票 (5 地域×50 票) 回収：75 票 (想定回収率：30.0%)	配布：2,300 票 回収：約 2,300 票 (想定回収率 100.0%)
調査項目	①外出状況（外出目的、目的地、外出頻度、移動手段、時間帯など） ※住民や高校生は普段の外出状況、利用者は当日の外出状況について ②登下校時の移動手段※高校生を対象としたアンケート調査のみ実施 ③鉄道、高速バス、タクシーの利用状況（利用頻度、利用区間、アクセス手段等） ④路線バスの利用状況（利用頻度、利用区間、利用する理由、利用しない理由等） ⑤地域生活交通の利用状況（利用頻度、利用目的、利用した・しない理由等） ⑥既存公共交通への要望（運行ルート拡大・増便・運行時間帯拡大・乗継割引等） ※例示のような市のリソース制約を記載・提示の上で実施する。 例：市民1人あたり公共交通維持負担額や市内交通事業者ドライバー充足状況 ⑦個人属性（車両所持の有無や免許返納状況と理由、送迎環境有無等も含む）			

(2) ヒアリングによる調査

目的

- 交通事業者や各種関係者へのヒアリングを通じて、現行の運行内容の持続可能性や、計画に位置付ける施策・事業の実現可能性、並びに地域における移動支援の実態を把握することを目的として実施する。これにより、関係主体との合意形成を見据えた実効性の高い施策検討に資する基礎情報の収集を図る。

実施概要

- 下記の調査対象や内容で行うことで、関係事業者や関係主体と丁寧な合意形成を図る

表 ヒアリング調査の実施概要

調査対象	運行事業者（地域生活交通含む）	その他関係者
調査項目	・人材・車両等のリソース状況 ・運行上の課題・継続意向 ・計画記載予定事業に対する実現可能性	今後、施策や事業を検討していく中で、必要に応じて各種関係者へのヒアリングを実施予定

(3) ビックデータを用いた調査

目的

- 携帯電話位置情報データ等を活用し、市域における人の移動実態や地域間移動、滞在需要等を把握するとともに、公共交通ネットワークとの対応関係を分析することで、需要と供給のバランスを明らかにすることを目的として実施する。これにより、幹線軸の設定や運行ルート、サービスレベルの検討等に資する基礎情報の整理を図る。

実施概要

- 携帯電話位置情報データ（人流ビッグデータ）を活用し、下記3種類の分析を実施する。その際、時間帯や季節変動の把握を目的に、時間帯別・平休日別・通常期／冬期別に整理する。

1) 花火図による地域間移動実態把握

- 携帯電話位置情報データを基に、中心部（旧長岡市域）と周辺部（支所地域や近隣市町村）とのゾーン間移動（OD）を集計し、花火図を作成することで、主要な移動軸や地域間の移動実態を把握する。

2) ヒートマップによる滞在施設分布把握

- GPSデータに基づくヒートマップを作成し、来訪・滞在需要の分布を可視化することで、都心地区及び支所地域における滞在施設分布や人の滞留状況を把握する。

3) 需給バランス把握

- 上記の分析結果に公共交通ネットワークを重ね合わせることで、現ネットワークの需給バランスを評価する。

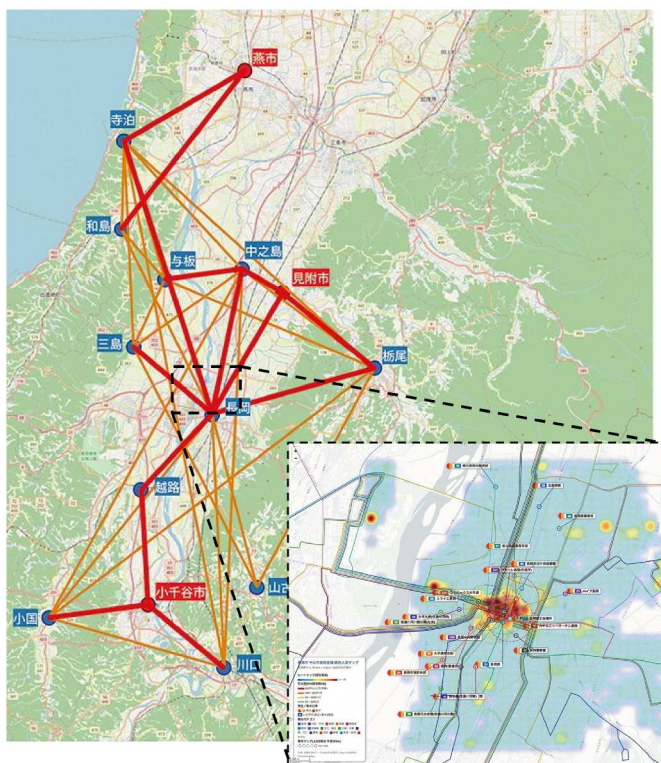


図 ビックデータを用いた分析イメージ

キャッシュレス決済の導入

○R3.3.20～ 実証実験として中央環状線「くるりん」に キャッシュレス決済（交通系ICカード）を導入

- ・新潟交通のキャッシュレス決済システム「りゅーと」を活用
- ・Suicaをはじめとした全国相互利用が可能な交通系ICカード（10カード）や新潟交通のりゅーとが利用できる

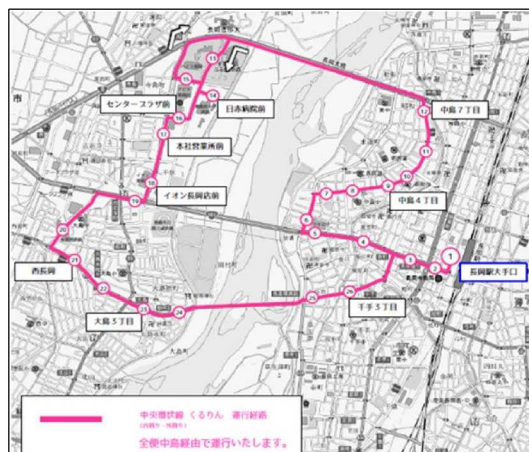


図 くるりん路線図 出典）長岡市

○R8.3.14～ 越後交通(株)の定期路線バス全線にタッチ決済を導入

- ・クレジットカード、デビットカード、プリペイドカードで精算可能に。



キャッシュレス決済の利用実績（くるりん）

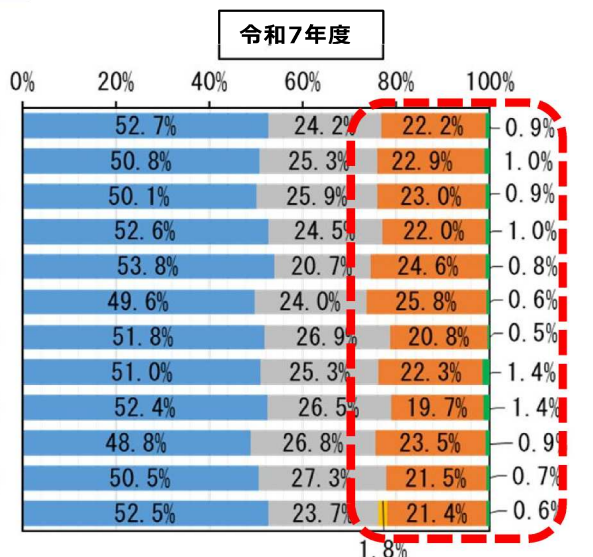
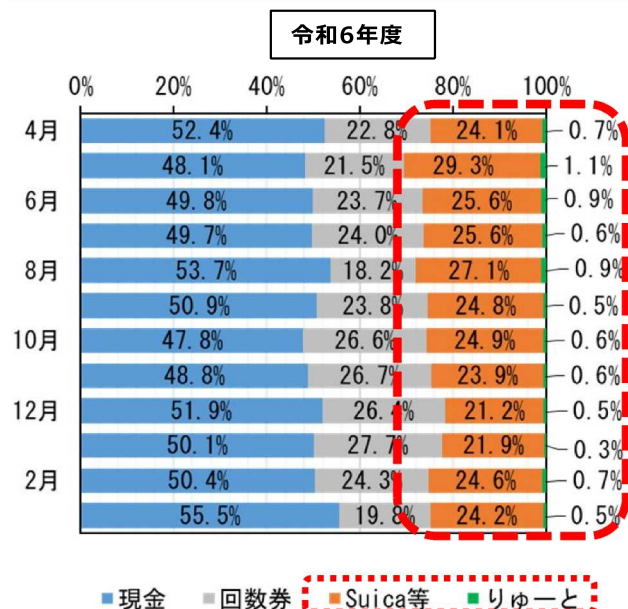


図 決済方法別利用実績 出典）越後交通提供資料

キャッシュレス
精算率
25.5%

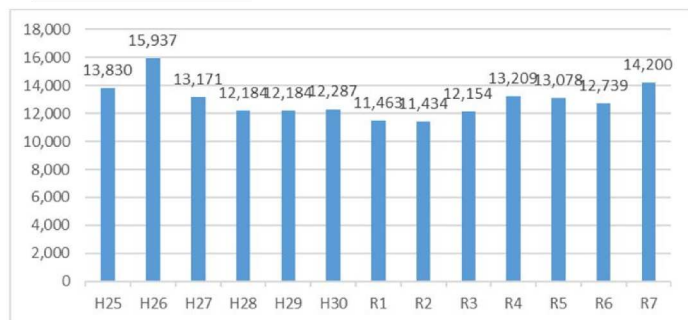
キャッシュレス
精算率
23.5%

2.0%減

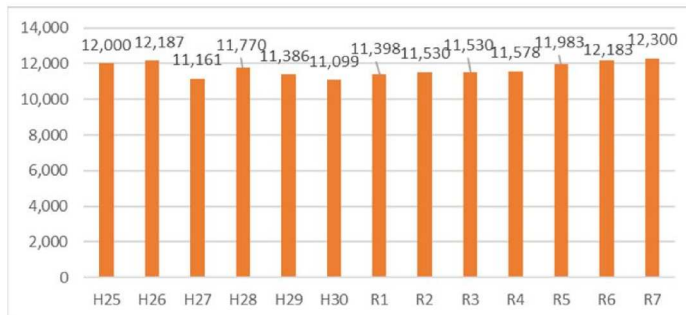
- 令和6年度と比較し、キャッシュレス精算率が2.0%減少している。
- ・現金は50.9%から51.5%に増加、回数券は23.6%から25.0%に増加。
- ・タッチ決済（R8.3.14～）の利用は全体の0.2%を占める。

長岡市補助金額の推移(千円)

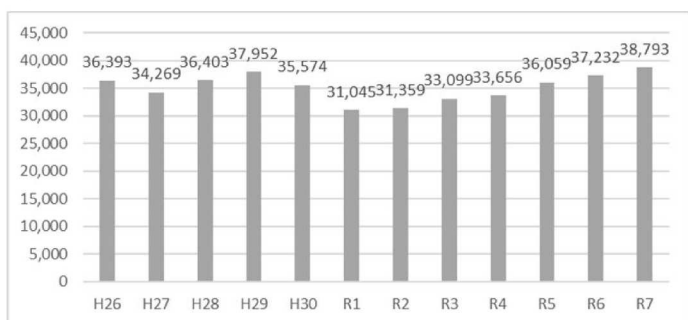
1. 小国地域



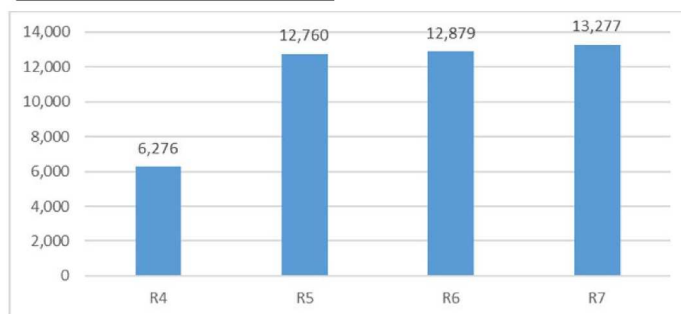
2. 川口地域



3. 山古志地域

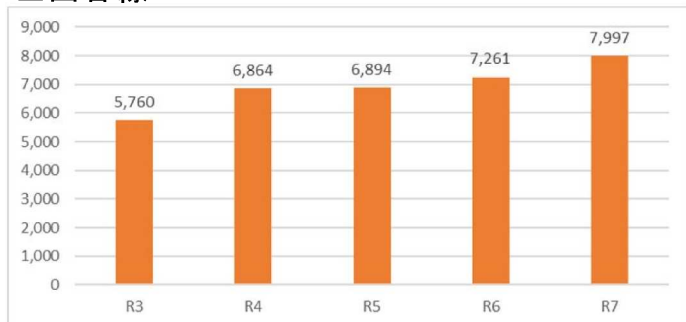


4. 寺泊・和島地域

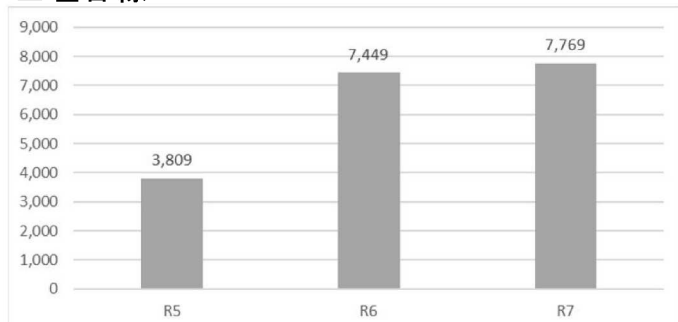


5. 栃尾地域

■西谷線



■塩谷線



■東谷線

